

学習課題(小学校6年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「大切にしたい言葉」（教科書 176～180 ページ）に取り組みます。

- (1) 座右の銘とは、いつも身近において自分をはげましたり、自分の目標としたりする言葉のことです。これまで誰かに言ってもらったり、新聞や本を読んだりするなどして見つけたりした言葉の中に、自分の座右の銘にしたい言葉はありますか。選んだ言葉と、それに結びつく経験について、ノートや取組シートに書きましょう。（ワークシートがあります）
- (2) どのくらいの字数で書くかを決めましょう。その字数の中で、伝えたいことが伝わるように、簡単な構成を考えましょう。教科書 177 ページを参考に、ノートや取組シートに「構成メモ」を書いてみましょう。
- (3) 構成メモを基に、ノートや取組シートに「下書き」を書きましょう。下書きが書けたら、以下の観点で推敲（一度書いた文章をよりよくするために、修正などをする）し、気付いたことをノートや取組シートに書きましょう。
- (4) 推敲したことをもとに、書き方を考え「清書」をノートや取組シートに書きましょう。完成した文章をお家の人などに読んでもらい、感想を聞いてみましょう。教科書 180 ページにある「たいせつ」を読み、大事なことを確認しましょう。

《推敲するときの観点》

- ・読みにくいところや、分かりにくいところはないか。
- ・くわしく書くとよいところと、簡単に書くとよいところはどこか。
- ・考えたことや感じたことにぴったりの言葉かどうか。

◆「漢字の広場 5」（教科書 181 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 181 ページの絵を見ていき、商店街の通りやお店の中の様子を考えましょう。どんなことを話しているか、会話も想像してみましょう。教科書に出てくる言葉について、意味が分からない場合は、辞典などで意味を調べましょう。（ワークシート例あり）
- (2) 提示された言葉を使い、5年生までに習った漢字を、意味を考えながら正しく用いて、例文を参考に絵に合った文章や想像した会話文をノートや取組シートに書きましょう。

◆「詩を朗読してしょうかいしよう」「仮名の由来」「メディアと人間社会/大切な人と深くつながるために」で学習する新出漢字（「朗」～「誕」）を練習します。（読み方や書き順などは 304 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「大切にしたい言葉」の学習では、「座右の銘」にしたい言葉を選び、それを自分の経験と結び付けて紹介する文章を書くという活動に取り組みます。伝記などを読むと、伝えたい「座右の銘」を考える参考になると思います。
- ・今回の学習では、「推敲（一度書いた文章をよりよくするために、修正などをする事。）」も大切な活動になります。自分で推敲することも大切ですが、下書きを書き終えた時点で、アドバイスをしていただけると、清書の時に工夫して書くことができると思います。

大切にしたい言葉

① 六年間で印象に残っている言葉を書きましよう。

② 座右の銘にしたい言葉を、いくつか挙げてみましょう。

座右の銘にしたい言葉

出会ったきっかけ

③ 座右の銘にしたい言葉を決めましよう。

④ 選んだ言葉に結びつく経験をくわしく書きだましよう。

--	--	--	--	--	--

学習する漢字について読み方を確かめましよう。分らない言葉は、辞書などで調べて意味を書いておきましよう。

漢字の広場⑤

言葉	読み方 (意味)	言葉	読み方 (意味)
小麦粉		接客	
価格		半額	
豊富		清潔	
百円均一		衛生	
職務		消毒	
犯罪防止		弁当	
応対		版画	
厚着		評判	
貯蔵		個性的	
精米		芸術	
血液型		興味	
採る		領収書	
夕刊		布	
眼科		編み物	
効く		綿織物	
医師		消費税	